

# いわた羅針盤

ら しん ばん

2025年  
9月号  
9/1発行  
No.102  
令和7年6月定例会



## 特集

### 議員が行きます！ 市議会出前授業がスタート

#### CONTENTS

- P2 特集 議員が行きます！  
市議会出前授業がスタート
- P4 6月定例会議案審議
- P6 一般質問（17人）
- P15 用語解説・トピックス
- P16 審議結果 ほか

# 特集 議員が行きます！ 市議会出前授業がスタート

市議会では、広報広聴の新たな取組として、小中学生を対象とした出前授業を始めました。このたび、青城小学校を訪問し、体育館で6年生のみなさんに出前授業を行いましたので、その様子を報告します。

実施：広報広聴委員会 実施日：令和7年7月15日

## 解説「議会のしくみ」

はじめに、議員から、磐田市議会の人数や任期、仕事の内容などを説明しました。



## グループワーク

続いて、グループに分かれて、「こどもの遊び場」をテーマに話し合い、こんな遊び場がほしい、こうだったらいいという意見を出し合いました。議員と相談しながら、出された意見は、模造紙に書き出していきました。



## 意見発表

最後に、グループで出された意見を発表しました。児童のみなさんは他のグループで出された意見にも真剣に耳を傾けていました。



## こんな意見が出ました

**グループA** ・こどもの遊具  
大きい遊具だと小さい子は遊べないから  
・自由に過ごせる図書館  
普通の図書館だと話したり遊んだりできないから

**グループB** ・屋内で遊べる場所  
夏でも涼むことができるから

**グループC** ・アスレチック  
体を動かして、楽しむことができるから

**グループD** ・噴水公園／プール  
夏に涼しく遊べるから  
・アスレチック(屋内)  
雨でも遊べるから  
・トランポリン  
運動ができるから

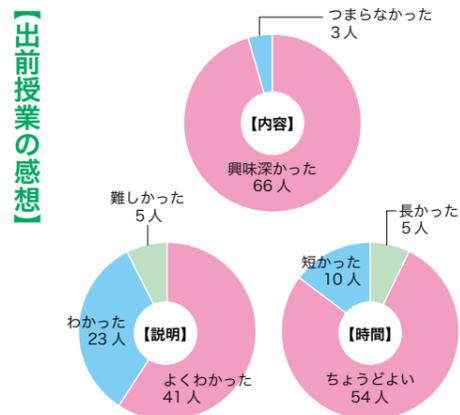
**グループE** ・エアコン付きの体育館  
・ウォータースライダー  
・無料のねこカフェ  
動物と関わる機会が増えるから

**グループF** ・屋内公園  
熱中症になりにくいから

### まだまだありました

シーソー／遊園地／動物園／手も洗える水飲み場／芝生広場／車いすでも使えるプール／サッカー・スポーツのできる公園／お花畑／ゲームセンター／ショッピングモール／飲食店／保育園／スケート場

## アンケート結果



### 【出前授業の感想】

- 今日話し合ったことが実現したらうれしいです。
- みんなで話し合うのが楽しかったです。
- もっとくわしく知りたいと思いました。
- 議員が26人もいると聞いてびっくりしました。
- いろんな意見ができてびっくりしました。
- 磐田について話せてよかったです。
- 学校で習ったけど、実際に聞いてみると、まだ自分の知らないこと

との方が多くて、いろんなことを知ることができました。

### 【議員への質問】

**Q** やりがいはありますか？  
**A** 地域が良くなったたり、困っている人が笑顔になったりすることが一番うれしいです。自分たちの活動が形になる達成感にやりがいを感じます。

**Q** 1日に何時間働いていますか？

**A** 働く時間は決まっていません。市役所5階の会派室で主に仕事をしますが、地域の人と会ったり、家で資料を読んだりもします。夜間や土日にも働くことも多いです。

**Q** どんな気持ちで議員になったのですか？

**A** 地域を「もっと良くしたい」という強い気持ちを持ったからです。限られた時間ではありましたが、議員と直接会話を交わすことで、市議会を身近に感じてもらう機会となったのではないかと思います。今後も広報広聴委員一同がんばってまいります。

6月定例会の様子は、インターネットで録画配信しています。質疑や討論は内容を要約して掲載しています。詳しくは、インターネットの録画映像をご覧ください。 

磐田市議会 配信  検索  [リンク](#)

令和7年  
6月  
定例会

# 議案審議

会期 6月12日～7月10日 (29日間)

## 一般会計補正予算(第1号)などを審議

6月定例会では、市長提出の7年度一般会計補正予算などの一般議案14件を審議しました。なお、すべての議案の審議結果は最終ページに掲載しています。

議案  
第59号

### 7年度一般会計補正予算(第1号)

全会一致で  
可決

この補正予算は、歳入歳出予算及び債務負担行為の追加並びに地方債の変更であり、歳入歳出予算それぞれに2億3823万8千円を追加し、総額を872億823万8千円とするものです。

#### 補正予算の主な内容

- 向笠交流センター体育館の天井改修工事に要する経費の増額
- 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した、LED照明器具への買替促進事業費補助に要する経費の増額
- 新しい地方経済・生活環境創生交付金などの財源補正
- NEXT GENERATIONスクール構想推進事業における債務負担行為の追加
- 向陽学府新たな学校づくり整備事業における地方債の変更

#### 本会議での主な質疑

**問** 向笠交流センター体育館の天井改修の内容と利用者への説明は。

**答** 体育館の屋根の地下から、粉末状の素材が剥離し、体育館内の床に付着するようになったため、利用者の健康面を考慮し、新たに軽量の天井板を設置し、粉の落下防止を図るもので、改修面積は322平方メートルである。利用者への説明は、市

ホームページや交流センターなどを通じて周知を図っている。

**問** LED照明器具買替促進事業委託の内容と周知方法は。

**答** コールセンターの設置、申請書類の受付、審査、決定通知の発送を予定している。周知方法は、広報紙やホームページなどを通じて情報発信するほか、市内電器店と連携し、チラシの配布や店舗におけるキャンペーンの紹介など、事業の周知・啓発に努める。

**問** 新しい地方経済・生活環境創生交付金の増額に至った経緯は。

**答** 他の自治体等で既に確立されているデジタルを活用した優良事例を横展開する取組に対し、事業費の2分の1が交付されるものであり、本市では、学校給食費等徴収システム及びWeb口座振替受付サービスの導入、キャッシュレス決済機能付きPOSレジシステムの導入、公開型GISへのハザードマップの追加、議場放送設備の改修の4つの事業計画を国に提出

し、7年3月13日に全ての事業の採択を受けたことから、今回、歳入予算として計上する。

**問** 学校情報機器整備事業の詳細は。

**答** 2年度に整備した1人1台端末を更新し、全児童生徒・教職員用ほか約1万6000台の端末調達と保守等を一括で、5年間のリースで契約するもの。事業費は全体で約20億円、国からの補助を除く市負担分を14億4866万1000円と見込んでいる。教員用端末の整備と、全児童生徒用にキーボードとタッチペンを整備することとしている。



議案  
第63号

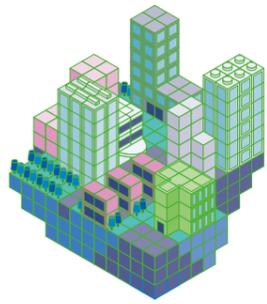
### 市税条例の一部改正

全会一致で  
可決

これは、地方税法等の一部改正に伴い、本条例の一部を改正するものです。

#### 改正の主な内容

- 個人市民税の特定親族特別控除の創設に伴う改正
- 固定資産税の特定マンションに係る特例規定の追加
- 市たばこ税の加熱式たばこに係る課税標準の特例規定の追加



#### 本会議での主な質疑

**問** 特定親族特別控除創設に至った経緯と税収への影響は。

**答** 今回の特定親族特別控除は、少子高齢化や働き方の多様化に対応した制度見直しの一環として、物価上昇局面における税負担の調整及び就業調整対策の観点から創



設された。この制度により労働時間の制限を緩和して人手不足等を解消することなどを目的としている。対象となる被扶養者は約400名、税収への影響額は約800万円の減収を見込んでいる。

**問** 加熱式たばこに係る改正理由と課税額への影響は。

**答** 加熱式たばこは、紙巻たばこよりも税負担水準が低く、課税の公平性を欠いている状況を踏まえ、加熱式たばこの換算方法を見直す。また、これまでの税率見直しと同じく、増税により一時的に増収となり、その後、消費本数の減少により減収していく見込みである。

議案  
第65号

### 財産の取得

全会一致で  
可決

これは、向陽学府新たな学校づくり整備事業において、駐車場等の整備に要する向笠竹之内市内の1万1729・21平方メートルの土地を取得するものです。

#### 概要

- 駐車場及びスクールバスの乗降場所等を整備するための土地を取得
- 向陽中学校東側に隣接する畑2筆

#### 本会議での主な質疑

**問** 取得予定金額の当初予算計上時との差異の理由は。

**答** 予算措置の時点では鑑定評価中であり、仮の鑑定評価額を基に計上したが、最終的な鑑定評価額により差額が生じた。

**問** 土地購入単価は適正な水準であるか。判断の根拠は。

**答** 不動産鑑定評価を実施し、土地の条件や近傍の農地の取引事例などから比較して求めた価格を考慮したうえで評価額が算出されていることから、適正な水準と考えている。

**問** 駐車場整備の方法など、どのように想定して取得に至ったのか。

**答** 土地取得後に埋蔵文化財調査を経て、一部敷地に8年4月の開校時に備えた仮駐車場の整備を行い、8年度事業としてスクールバス乗降場の整備と併せて、駐車場整備の完了を目指したい。駐車台数は、スクールバス8台、自家用車約220台を想定し、8年度に整備する「みんなの家」の利用者にも使いやすい駐車場となるよう設計を進めていく。なお、選定にあたっては、三方を道路に囲まれている条件の中で、子どもたちの安全確保を最優先に考える中で当該隣接地が適地と判断した。



## 市長の所信表明について



一括質問

志政会 秋山勝則 議員



**問** 所信表明にある想いをどのように進めていくのか。

**答** 人と予算に限りがある中、スピード感を持って進め、9年度からの次期総合計画の中でも位置づけていきたい。共創資本経営の考え方のもと、一人一人が自分自身の人生の中で幸せと誇りを実感できるまち、様々な変化に対応できる持続可能なまちを実現していきたい。

**問** 防災・減災における課題と予算確保の方針と方策は。

**答** 南海トラフ地震や風水害への対策には、多くの時間や費用がかかる上に、能登半島地震の複合災害で課題が増えた。市民への防災意識の啓発を行い、自助と共助をさらに推進していきたい。予算の確保は、市民の命を守ることが第一優先であるという基本的な方針のもと、国、県の補助金を積極的に活用し、インフラの強靱化や資機材の整備を計画的に進めていく。

**問** 小規模多機能自治の方向性と海・山・川の維持管理をどのように図るのか。

**答** 地域づくり協議会や自治

## 市政を問う

# 一般質問

要旨

### 一般質問とは？

個々の議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。6月定例会では、17人の議員が一般質問を行いました。発言した順番で主な内容をお知らせします。

一般質問は内容を要約して掲載しています。詳しくは、インターネットの録画映像をご覧ください。

磐田市議会 配信

検索

## 市長の所信表明について 磐田市の新しい取組について



一問一答

せいわ会 平田直巳 議員



### 市長の所信表明

**問** 強力なリーダーシップを発揮して、市政を前進させてほしいが、市長の考えは。

**答** リーダーシップの要素は多岐にわたると考えており、バランスを取りながら自分を磨き、市政を前進させていく。

**問** 長寿のまちへの魅力づくりについて、市長が考える重層的な支援の体制は。

**答** 気軽に何でも相談できる窓口の充実や全世代が集える居場所づくり、誰もが無理なく支え合いに参加できる仕組みづくりに加えて、様々な課題が絡み合った相談について、関係する機関が連携して対応する体制を構築していく。

**問** 旧市民文化会館等跡地の利活用について、様々な意見や調査結果をどのような方法でまとめていくのか。

**答** 意見や市民ニーズを基にしたしながら、7年度中に基本方針を策定し、方向性を示していく。

**問** 副市長二人制は、何に重点を置いて登用を考えているのか。

### 市長の所信表明

**問** 共創基本経営の具体的政策・推進体制・市民への周知について伺う。

**答** 共創資本経営とは、みんなが持つ力や魅力でまちや地域をつくり上げていくことであり、職員や市民等、多くの方々に共有し関わってもらいながら推進していく。経営戦略説明会等、自ら市民との対話を通して伝えていきたい。

**問** 不登校対策の全体像は。

**答** 子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりや相談窓口の拡充、保護者同士がつながる場所づくりやフリースクール等の情報の発信に努め、学校、家庭、地域が一体となった支援体制のもとで、どこともつながりのない子・保護者ゼロを目指していきたい。

**問** スポーツプラットフォーラムにより解決を目指す課題とスポーツの持つチカラとは。

**答** 健康経営の実現や地域経済の活性化、交流人口や関係人口の増加等が課題である。スポーツには郷土愛を高める人を呼び込む、人と人をつな

ぐ、市の魅力を発信する等の力があると考える。

### 市民自治の現状と課題

**問** 地域づくり協議会の成果と課題は。

**答** 主な成果は、活動に応じた柔軟な体制づくりと予算配分、自治会役員の負担軽減で、担い手不足や多世代の参画が不十分なこと等が課題である。

**問** 公共交通機関全体を統合した地域公共交通の検討状況は。

**答** ボランティア運送やライドシェア等、特性に応じて役割を適切に分担するベストミックスを探り、持続可能な公共交通の創出を次期計画の中で示していきたい。新たな移動支援も研究していく。



**答** 専門知識の活用や役割分担により、市政運営の強化、迅速化などに重点を置いた登用を目指したい。

**問** ふるさと納税寄附額増額の具体的な目標額と施策は。

**答** 6年実績を上回る10億円を目標とし、任期中、過去最大の年間寄附20億円を目指す。市長自らがトップセールスを行い、全国に向けて本市の魅力や返礼品を発信していく。

### 新しい取組

**問** 磐田市沿岸部未来ビジョンの具体的な進め方は。

**答** 市内外問わず広く発信するとともに、民間開発や公民連携、資金支援など、共創の取組を推進することで沿岸部の活性化を図っていきたい。



## 市長の所信表明について 安心な暮らしの諸政策について



一問  
一答

公明党磐田 江塚 学 議員



### 市長の所信表明

**問** どのような声が多く寄せられ、2期目の政策にどのような反映させていくのか。

**答** 多く寄せられた声を「不安」と「期待」として、まちづくりにおける5つの誓いに政策として反映した。市民の声を政策へ反映していくには、思いや市の取組を市民と共有することが大切であり、受け手側目線に立った情報発信の方法を検討していきたい。

### 安心な暮らしの諸政策

**問** 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用しどのような対策に取り組むのか。

**答** 学校給食食料費高騰分への支援や、いわたLED照明買替キャンペーンに伴う補正予算を計上している。今後効果的な対策を実施できるような検討していきたい。

**問** 行政と民間事業者が連携して取り組む「成果連動型民間委託契約方式」の導入は。

**答** より成果の創出を可能とする新たな公民連携手法と認識している。メリット・デメ



一問  
一答

日本共産党磐田市議団 根津 康 広 議員



### 市長の所信表明

**問** 不登校対策に対する市が取り組むべき課題は。

**答** 不登校支援プランを周知・共有していくこと、安心して過ごせる環境整備を進めていくこと、個々のニーズに合わせた支援ができるように関係機関との連携を深めていくことが挙げられる。

**問** 障がい者の親亡き後の支援拠点の整備計画は。

**答** 障がい者支援施設などへの事業説明、緊急時の受入れ登録依頼などを進めている。緊急時の支援登録、グループホーム等の活用、専門的な人材の育成に取り組んでいく。

**問** 避難所の改善は。

**答** 簡易ベッドやパーテーションの整備、衛生用品の備蓄など、できるだけ前倒しして進めるとともに、災害時でも温かい食事ができるようキッチンカー所有者との協定なども目指していく。

**問** 向陽学府小中一校により、小学校跡地も床面積の縮減の対象となるのか。今後の方向性は。

**答** 学府内の公共施設の在り方も含めて、より具体的な対話の場を設けるとともに、公共利用や地域利用だけでなく、民間活用の可能性も検証した上で、方針をまとめていく。

### 浜岡原発再稼働に対する政治姿勢

**問** 市民の安全安心の確実な担保というならば、再稼働反対の意思表示をすべきでは。

**答** 電気料金の高騰など市民生活に大きな影響が出ていることや、脱炭素社会の実現を目指す必要性もあることからアンケートには「その他」と回答した。様々な安全対策がしっかりと行われ、原子力規制委員会の審査に適合することの考え方に変わりはない。



## 市長の所信表明について



一問  
一答

市民と創る磐田 鈴木 弥 栄 子 議員



### 市長の所信表明

**問** 「変えるべきところ」として、どんなことを課題に感じて、どう変えていきたいか。

**答** 既存のルールや古くなっている制度・組織を変えていきたい。デジタル化などの新しいテクノロジーを積極的に取り入れ、日本一のトップスピードで変えていく意気込みでいる。

**問** 小中一校構想の推進に当たり、どのような未来を描いているか。

**答** 地域の方や保護者の方に小中一校のよさを理解していただき、最終的な合意形成に繋がればよいと感じている。学校が地域の力を借りてよりよくなることを願っている。

**問** 市立総合病院の機能強化への考えは。

**答** 病院機能の最適化のためデータを駆使して組織管理機能の強化を第一に据えて、病院経営に資する自助力を高めることに注力している。

**問** 定年退職後の雇用機会の拡大への思いは。

**答** 一人一人が働きたいと思

**問** ジェンダー平等の観点から、協力して子育てをする夫婦が前向きになる取組が必要と考えるが、見解を伺う。

**答** 子育ては夫婦が協力して取り組むことが大切。7年度から実施のプレパパママ教室などを通し、家庭で支え合える環境づくりを進めていく。

**問** 遊び場には、誰もが安心して遊べるように、利用する人たちの心のバリアフリーが必要と考える。啓発方法は。

**答** 全ての人が心のバリアフリーに沿った行動につながるよう広報紙などで啓発するほか、公園内やホームページでインクルーシブ遊具を紹介し、共生社会の実現を目指していく。

**問** 市民参加型防災訓練の課題と、今後の充実策を伺う。

**答** 課題は自治会役員以外の参加が少ないこと、先進的な訓練事例の水平展開と認識している。今後は、市民が体験できる要素を増やし、参加しなくなるよう実効性の高い訓練と学びの場をつくっていきたい。また、ジュニア防災士の認定を受けた中学生が講師



えば働ける社会を作りたいことを目指していきたい。高齢者を雇用する会社は増えてきており、情報共有しながら進める必要があると考えている。

**問** グリーンインフラの考え方を自然環境や保全に活かし、どんなインフラを整えるのか。

**答** 木が育つのは何年もかかるので、すぐに何かをするということではない。グリーンインフラでまちを守り育て、愛着ある地域にしていける方向性を示したものである。

**問** 磐田から未来をつくる起業家を育てるための考えは。

**答** スタートアップの誘致・心援のため、7年度から産業イノベーションマネージャーを配置し、取組を進めている。



として活躍できる場を訓練に取り入れるなど、多世代が参加する訓練を計画していく。

**問** ゼロカーボンシティの実現に向け、グリーンカーボンの活用について、見解を伺う。

**答** 財産区における森林経営計画に基づく整備を支援し、J-クレジットとしての活用も検討していく。

**問** 外国人にも選ばれるまちを目指すダイバーシティの推進について、課題と今後の重点的な取組は。

**答** 課題は、言葉や文化の違いによる相互理解、歩み寄りが十分でないことだと考える。今後は、言葉の障害を低くする取組を推進していきたい。

## 子どもたちの健やかな成長を支える地域と学校の連携について



問  
答

市民と創る磐田 大迫由美子議員



**問** 小中学生の積極的な交流や教職員の一体感が醸成されるなど、つながりの深化が図られている。今後は、より一層地域と連携を深めたい。

**答** 小中学生の積極的な交流や教職員の一体感が醸成されるなど、つながりの深化が図られている。今後は、より一層地域と連携を深めたい。

**問** ながふじ学府一体校設立の効果と今後の方向性は。

**答** ながふじ学府一体校設立の効果と今後の方向性は。

**問** 教員の勤務時間の変化による子どもとの対面時間や心のケア、学習状況への影響は。

**答** 超過勤務時間の減少は、子どもと向き合う時間の増加、教材研究や話し合う時間が生まれることで、授業や生徒指導の充実につながっている。

**問** 家庭の多様化や地域のつながりの希薄化による子どもの孤立を防ぐ居場所づくりの現状と課題は。

**答** 校内・校外に教育支援センターを設置しているが、学びの場という意識の傾向があるので、機能をさらに高め、自分の居場所感を高められる場となるよう、在り方を考えていきたい。民間の居場所の情報も当事者に届かないという課題もあり、伝え方を工夫していきたい。



**問** ながふじ学府一体校設立の効果と今後の方向性は。

**答** ながふじ学府一体校設立の効果と今後の方向性は。

**問** 家庭の多様化や地域のつながりの希薄化による子どもの孤立を防ぐ居場所づくりの現状と課題は。

**答** 校内・校外に教育支援センターを設置しているが、学びの場という意識の傾向があるので、機能をさらに高め、自分の居場所感を高められる場となるよう、在り方を考えていきたい。民間の居場所の情報も当事者に届かないという課題もあり、伝え方を工夫していきたい。

**問** 教員の勤務時間の変化による子どもとの対面時間や心のケア、学習状況への影響は。

**答** 超過勤務時間の減少は、子どもと向き合う時間の増加、教材研究や話し合う時間が生まれることで、授業や生徒指導の充実につながっている。

## スポーツのまちづくりの推進について／新たな時代に向けた施設利用について／安心・安全な子育て環境について



一括  
質問

志政会 鳥居節夫議員



**問** 普及拡大を目指していきたいが、スポーツ施設のバリアフリー化が不十分であることが課題である。今後、優先順位をつけながらバリアフリー化を進めていく。

**答** 普及拡大を目指していきたいが、スポーツ施設のバリアフリー化が不十分であることが課題である。今後、優先順位をつけながらバリアフリー化を進めていく。

**問** ユニバーサルスポーツやパラスポーツをより楽しめる環境整備についての考えは。

**答** ユニバーサルスポーツやパラスポーツをより楽しめる環境整備についての考えは。

**問** 各世代の施設利用に係る庁内横断的な連携への見解と、指定管理者との協力体制は。

**答** 各世代の施設利用に係る庁内横断的な連携への見解と、指定管理者との協力体制は。

**問** スポーツ施設等の利用促進のための、利用時間の変更や延長時間の設定への見解は。

**答** スポーツ施設等の利用促進のための、利用時間の変更や延長時間の設定への見解は。



**問** 産後ケアの利用者や実施施設からの意見・要望は。

**答** 産後ケアの利用者や実施施設からの意見・要望は。

**問** 肯定的な意見が多くある一方で、利用可能日数の増加についての要望があった。

**答** 肯定的な意見が多くある一方で、利用可能日数の増加についての要望があった。

**問** 産後ケアの利用者や実施施設からの意見・要望は。

**答** 産後ケアの利用者や実施施設からの意見・要望は。

## 教育施設関係の老朽化対策について／学校給食について／竜洋地区の諸課題について



問  
答

志政会 岡 實議員



**問** アレルギー対応食の実施状況と実施者数、年度毎の推移及び課題は。

**答** アレルギー対応食の実施状況と実施者数、年度毎の推移及び課題は。

**問** 完了予定時期や課題は。

**答** 完了予定時期を明確に示すことは困難であるが、代替食の提供できる体制を段階的に進めていきたい。課題は、代替食を提供するために専用スペースや調理器具、調理員等が必要不可欠であり、大原学校給食センター、ながふじ学府共同調理場以外での対応は困難となっている。

**問** 浜松・小笠山間広域幹線道路の整備促進は。

**答** 浜松・小笠山間広域幹線道路の整備促進は。

**問** 天竜川ダムの再編事業の内容は。

**答** 天竜川ダムの再編事業の内容は。



**問** 利水専用の佐久間ダムに洪水調整のための容量を新たに付加するもので、加えて、ダム湖に流入する土砂の一部を下流河川に還元することで、遠州灘海岸の海岸侵食の抑制に期待している。

**答** 利水専用の佐久間ダムに洪水調整のための容量を新たに付加するもので、加えて、ダム湖に流入する土砂の一部を下流河川に還元することで、遠州灘海岸の海岸侵食の抑制に期待している。

**問** 天竜川ダムの再編事業の内容は。

**答** 天竜川ダムの再編事業の内容は。

**問** 天竜川ダムの再編事業の内容は。

**答** 天竜川ダムの再編事業の内容は。

## 「未来を担う人財の育成」について



一括  
質問

愛和 玉木良汰議員



**問** 共創する視点や力を育むための工夫について伺う。

**答** ともに学んで知識や課題感を共有し、つながった仲間と解決策を対話、共感し、実行する共創のプロセスを大切にしていきたい。それが浸透するために必要な支援は何かを、地域のリーダーと対話していくことが大切だと考える。

**問** 中学生地域リーダー養成講座の課題と、人材育成の視点について伺う。

**答** 中学生地域リーダー養成講座の課題と、人材育成の視点について伺う。

**問** 地域リーダーの確保と、主体性の育成について伺う。

**答** 地域リーダーの確保と、主体性の育成について伺う。

**問** 本質的な課題の発見と根本的な解決を目指す視点の重要性の見解は。

**答** 本質的な課題の発見と根本的な解決を目指す視点の重要性の見解は。



**問** 産後ケアの利用者や実施施設からの意見・要望は。

**答** 産後ケアの利用者や実施施設からの意見・要望は。

**問** 産後ケアの利用者や実施施設からの意見・要望は。

**答** 産後ケアの利用者や実施施設からの意見・要望は。

**問** 産後ケアの利用者や実施施設からの意見・要望は。

**答** 産後ケアの利用者や実施施設からの意見・要望は。

子育て支援について／地域公共交通について／安心して暮らせるまちづくりについて



一括質問



市民と創る磐田 高塚 静子 議員

市の新規就農支援制度

**問** 農業支援策を利用して就農者の状況と成果、課題は。

**答** 支援策を利用して就農者は16名で、露地野菜や施設園芸を中心に経営を開始している。課題は販路や労働力の確保、農地集積の難しさ、気象変動への対応などである。

**問** 若者呼び込み、異業種からの新規参入を促進するための市独自の支援策は。

**答** 国や県の制度の狭間にある方への支援の在り方について、まずは生産者との対話によりニーズを把握するところから始めていきたい。

**問** 新規就農者の拡大による市の農業の活性化、地域社会への影響、長期的な展望は。

**答** 農業の担い手確保、耕作放棄地の解消、地域経済の活性化などの好影響をもたらすものと考えている。高齢化による担い手不足が懸念されることから、引き続き新規就農者の確保や育成に努めていく。

子育て支援

**問** 病児・病後児保育施設の現状は。

**答** 病児・病後児保育施設が2施設、病後児保育施設が7施設で事業を実施し、6年度に1施設増設をしたことで、円滑に実施されている。

**問** 病児・病後児保育施設の利用にインターネット予約システムを導入する考えは。

**答** 施設側の受入体制や子どもの症状を正確に把握できないなど、安全面に課題があることから、現時点では導入の考えはない。

地域公共交通

**問** 路線バス・自主運行バスの運行本数、料金の見直しの検討状況は。

**答** 路線バスについては、運行本数を見直す情報はないが、運賃改定は、民間事業者で対応策を検討している。自主運行バスは、運行本数や利用者負担額を維持することを基本とし、定期的な見直しを進めている。



外国人の自治会参加

**問** 外国人住民が自治会に積極的に参加し、地域活動の担い手となるための方策は。

**答** 転入手続の際に外国人情報窓口で行っているオリエンテーションの中で説明を行うとともに、自治会活動を紹介する動画を多言語で作成し、フェイスブック等で周知を図っている。自治会からは言葉の問題の相談もあり、加入案内などの翻訳や通訳機器の貸出などを支援している。

**問** 地域コミュニティの円滑な運営維持に係る市の役割は。

**答** 全市一律のルールの制定は、自治会の自主性を尊重する観点から、現時点では考えていないが、自治会や外国人市民などから相談があれば丁寧に対応していきたい。



**問** デマンド型乗合タクシーの日曜日のニーズの把握は。

**答** 日曜日の運行は主な行き先となっている病院がほぼ休診のため、運行を望む声が多くなく、費用対効果も考慮し、現時点で運行の予定はない。

**問** デマンド型乗合タクシーの運賃改定の検討状況は。

**答** 利用者数や乗合率は向上しているが、6年度収支率が19.3%と改善されていないことから、利用実態を分析した上で、内容や時期も含めて運賃の値上げを検討している。

**問** JR磐田駅周辺の緑化計画は。

**答** 磐田駅周辺のみならず、画はないが、本市の玄関口として緑の景観形成において重要であると認識している。

市民の暮らしと健康を守る施策／医療・介護保険制度の充実を／教育・保育の諸課題



一括質問



日本共産党磐田市議員 高梨 俊弘 議員

予想される災害への備え

**問** 多くの在宅、車中避難者が想定されるが本市の支援は。

**答** 避難所外避難者の把握は困難であるため、まずは自主防災会などと協力しながら状況把握し、情報を基に物資を届けるなど、地域との連携による共助の取組が不可欠と考えている。

**問** カーボンニュートラル推進を踏まえた非常電源確保は。

**答** 避難所の非常用電源は、ガソリン燃料の発電機を確保しており、避難所となる各施設のカーボンニュートラルの導入・整備と併せ研究していく。

**問** 救援物資輸送でのドローン利用協定は、どのような活用、拡充を図るか。

**答** 災害時は人が立ち入れない地域に、被害状況の把握や要救助者の捜索等で活用することを想定し、今後、物資輸送等の活用も検討していく。

**問** 市費負担教員のふるさと先生について、今後の展開は。

**答** 教職の魅力を伝える中で新たな人材育成を図り、不登校や外国人児童・生徒など、多様化するニーズに合わせた制度となるよう検討する。

**問** 保育現場のスマートデバイス導入後の利点は。

**答** 全ての園で「コードモン」を導入し、保護者からの欠席連絡ができるなど、利便性向上と保育現場の事務負担軽減に大きく効果が出ていると評価している。

**問** 保育状況をどのように小学校へ連携しているのか。

**答** 児童一人一人に寄り添ったきめ細かな配慮や、保護者の意向確認などが必要であるため、情報の種類やICT化の費用対効果を検討しながら可能な範囲で進めていく。



市民の暮らしと健康

**問** 米不足と価格高騰の要因について、市長の認識を伺う。

**答** 生産量が不足したこと、不安心理による買いだめや、投機目的による売り渋りもあつたようであり、政府による検証が必要と認識している。

**問** 消費税減税に対する市長の見解を伺う。

**答** 消費税率の変更は、市民生活や地域経済に大きな影響を与える。社会保障や少子化対策を支える重要な財源にもなっているため、減税する場合には、国で代わりの財源を確保していただきたい。

**問** 半導体やフッ素樹脂を製造している企業を市は把握しているのか伺う。

**答** いずれの企業もPFASを使用していないと把握している。また、本市が所有する水源井戸や、県企業局が運営する遠州広域水道、市内9つの簡易水道についても、環境省が定める基準の超過はないことを確認している。

医療・介護保険制度の充実

**問** 全ての加入者に資格確認書の交付を行うべきと考えるが市の対応を伺う。

**答** 国民健康保険では、マイナ保険証をお持ちの方には資格情報通知書、マイナ保険証をお持ちでない方には有効期限が8年7月31日の資格確認書を交付する。また、後期高齢者医療制度では、被保険者全員に有効期限が8年7月31日の資格確認書を交付する。

教育・保育の諸課題

**問** 「こども誰でも通園制度」の事業概要は。

**答** 生後6か月から3歳未満までの保育所等に通所していない子どもが対象で、月10時間の枠内で親の就労要件を問わず利用できる新たな保育サービスである。





一問  
一答



愛和 鈴木百合子 議員

## 子育てにかかる負担の軽減について 災害対応力の強化について

### 子育てにかかる負担の軽減

**問** 放課後児童クラブの申請の利便性向上に向けたシステムの導入予定や検討状況は。

**答** 子どもの食事に限らず、様々な方々の持つノウハウを集結し対応することが必要のため、被災者のニーズに合った個々の特性を生かした活動や協力を期待している。課題は、需要と供給を適切にコーディネートできる人や仕組みの構築、平時から顔の見える関係づくりである。

**問** 児童クラブシステム更新はいつ頃になるのか、また、電子申請できる内容は。

**答** 地域防災人材の育成を進めるための、防災士の資格取得の助成制度の導入は。

**問** 8年2月末頃を予定している。児童クラブの利用変更・中止の申請を検討しているが、料金と連動する部分があるため、最善の注意を払いながら検討を進める。

**答** 役割や重要性、資格取得のメリットを積極的に周知すること、活躍の場を提供すること、資格取得を推奨すること、地域の防災力の向上に向けての助成制度も含め、仕組みづくりも検討していく。

**問** 小中学校へ提出する書類のデジタル化推進方針、取組内容は。

**答** 14校で家庭環境調査票や健康調査票でデジタルフォームでの提出を試行している。試行状況の確認、利便性や課題などを整理し、他の書類等も安全性を確保した上で活用できるように研究を進めていく。

**問** 災害時において子ども食堂に期待する役割と連携する

**答** 子どもの食事に限らず、様々な方々の持つノウハウを集結し対応することが必要のため、被災者のニーズに合った個々の特性を生かした活動や協力を期待している。課題は、需要と供給を適切にコーディネートできる人や仕組みの構築、平時から顔の見える関係づくりである。

### 災害対応力の強化

**問** 災害時において子ども食堂に期待する役割と連携する

**答** 子どもの食事に限らず、様々な方々の持つノウハウを集結し対応することが必要のため、被災者のニーズに合った個々の特性を生かした活動や協力を期待している。課題は、需要と供給を適切にコーディネートできる人や仕組みの構築、平時から顔の見える関係づくりである。



一問  
一答



志政会 伊藤克之 議員

## 中学校の教育活動について 高齢者福祉について

### 中学校の教育活動

**問** 集団生活の中で、子どもの権利の主張が認められない点について市の考えは。

**答** 主体的な参加を促す意見交換の場や、多様な意見を尊重する場を教育活動の中に意図的に設け、一人一人を大切にすることを推進していく。タブレット端末を用いた相談についての成果は。

**問** 今までは把握しにくかった家庭や身体についての相談など、担任や親に直接言えない悩みに対しても早期に気づき、関係機関と情報共有し対応することができている。

**問** 新たな移動支援のビジョンは。

**答** デマンド型乗合タクシーの利便性向上や、バス路線の維持に注力している。利用者や市民の声を聞きながら、国の動向や先進的な取組についての情報収集を行い、新たな移動支援を研究していく。

**問** 地域活動継続への支援をどのように拡充していくのか。

**答** 誰かの役に立つことで生きがいを感じられる社会、地域づくりの実現に向けて、様々な主体における多様な場を増やすことを目指す。

**問** 静岡ブルーレヴズのスタッフが訪問し、ルール説明やチームの紹介、応援練習や試合の見どころを紹介している。

**問** 誰かの役に立つことで生きがいを感じられる社会、地域づくりの実現に向けて、様々な主体における多様な場を増やすことを目指す。



### 一般質問 用語解説



※1 スポーツプラットフォーム(P6)  
スポーツの情報を提供する環境、基盤のことです。

※2 イノベーションマネージャー(P8)  
革新的なアイデアを獲得、計画、組織化、推進、管理する役割を担う人材のことです。

※3 インクルーシブ遊具(P9)  
年齢や身体能力に関係なく、誰もが一緒に楽しめるように設計された遊具のことです。

※4 グリーンカーボン(P9)  
陸地にある森林などが吸収・蓄積した炭素のことです。

※5 J-クレジット(P9)  
省エネルギー設備の導入や森林経営などの取組による、CO2などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度のことです。

※6 ナッジ理論(P10)  
「人々が強制的にはなく、よりよい選択を自発的に取れるようになる方法」を生み出すための理論です。2017年にノーベル経済学賞を受賞したリチャード・セイラー教授によって提唱されました。

※7 グリーフケア(P11)  
死別により、喪失と立ち直りの思いとの間で揺れ動き、不安定な状態となると同時に、身体上にも不愉快な反応・違和感を体験することを「グリーフ」といい、このような状態にある人に、さりげなく寄り添い、援助することです。

※8 ICT化(P12)  
情報通信技術を活用して、業務効率化や新しい価値創造を目指す取組のことです。

※9 PFAS(P13)  
有機フッ素化合物のうち、人工的に作られたフッ素が多い化合物の総称です。水や油をはじくため、幅広い用途で使用されてきました。環境中で分解されにくく、人体への影響も懸念されています。

※10 デジタルフォーム(P14)  
紙でやり取りしていた申請書や申込書などを、インターネットなどのネットワーク上で電子的に作成、入力、送信、管理できるシステムのことです。

## Topics

### 5 1期議員を対象とした市内施設等の視察研修を行いました

議員としての見識の向上のため、1期議員を対象とした市内施設等の視察を行いました。海岸防潮堤や遠江国分寺跡、ひと・ほんの庭にこっとなど、現地で市職員等から説明を受けた後、1期議員から各々の視点で積極的に質疑が出されました。



### 7 議員研修開催

国民健康保険事業について理解することを目的に、議員研修を開催しました。本市国保年金課長の説明により、国民健康保険制度の現状や財政状況、今後の見通しについて理解を深めました。



# 審議結果

## ■全会一致により可決された議案

- (1) 7年度一般会計補正予算（第1号）
- (2) 7年度病院事業会計補正予算（第1号）
- (3) 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- (4) 職員の育児休業等に関する条例等の一部改正
- (5) 税条例の一部改正
- (6) 7年度陸上競技場改修工事請負契約締結
- (7)～(10) 財産の取得
- (11) 市道の路線認定
- (12) 市道の路線廃止
- (13) 市道の路線変更
- (14) 7年度一般会計補正予算（第2号）

## ■本会議で行われた選挙

- (1) 静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

## ■その他本会議で議題となった案件

- (1) 閉会中の継続調査
- (2) 市議会議員の派遣



©磐田市

## 9月定例会の予定

(9月5日～10月14日)

日	月	火	水	木	金	土
8/31	9/1	2	3	4	5	6
					本会議 (先議ほか)	
7	8	9	10	11	12	13
	本会議 (議案上程)					
14	15	16	17	18	19	20
			本会議 (一般質問)		本会議 (議案質疑)	
21	22	23	24	25	26	27
	本会議 (議案質疑)		予算決算委員会分科会(審査) 常任委員会(審査)			
28	29	30	10/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
	予算決算委員会 (採決)					
12	13	14	15	16	17	18
		本会議 (採決)				

※いずれも午前10時から

日程は変更する場合があります。

一般質問を行う議員の順番や内容につきまして9月12日(金)にホームページ上で公開を予定しております。また、聴覚障がい者の皆さまの議会傍聴のため、手話通訳者や要約筆者の手配等を行っています。ご希望の方は、事前に議会事務局(電話0538-37-4822、ファックス0538-37-4845)までお問い合わせください。

## 表紙の写真

静岡県立磐田農業高等学校 2年生

おおば らいむ  
写真部 大場 来夢 さん

私は野球が好きで、よく観戦することがあります。高校に入ってから、高校野球の地区予選を通して、球児のみんなが輝いている瞬間を撮影することがありました。この写真は、今年の夏の大会で得点をした場面です。選手みんなの笑顔と仲間を迎える姿から、日ごろの努力の積み重ねと感動が伝わってきました。



6月定例会では18名の議員から一般質問の通告があり、そのうち新人議員8名中7名の一般質問が行われました(1名は病欠)。議員になる前から街頭等で訴えていた思いを形にするために、各議員が力強く議場で発言しました。

今後の活躍に期待していただくとともにみなさんのご指導をよろしくお願いたします。(永井新次)

## 【広報広聴委員会】

- 委員長：芦川和美
- 副委員長：鈴木弥栄子
- 委員：永井新次、本間昭男、江塚学、鳥居節夫、根津康広

次回は12月1日発行予定です。